



# 鎌倉芸術館名画座 「夜叉ヶ池」上映 & アフタートーク

アフタートーク：中橋嘉久氏  
(撮影監督 / 「夜叉ヶ池」撮影助手)

撮影当時のエピソードや松竹大船撮影所の  
思い出をお話しいたします

泉鏡花の原作を、篠田正浩監督が1979年  
に取り組んだ作品。  
五代目坂東玉三郎が初めて映画に出演し、村に  
暮らす女性・百合と夜叉ヶ池の竜神・白雪姫の二  
役を演じて妖艶な世界を表現した。  
2021年に4Kデジタルリマスターされた映  
像を是非劇場でお楽しみください

篠田正浩監督・坂東玉三郎主演の不朽の名作が、  
美しい映像と音声でついに蘇る！

2023.2.18【土】

開場 12:30 開演 13:00

鎌倉芸術館小ホール

※鎌倉芸術館（鎌倉市大船6-1-2）へはJR大船駅東口・笠間口から徒歩約10分

チケット：全席自由1,000円（当日券1,200円）

〔チケットのご予約・お問合せ〕 鎌倉芸術館チケットセンター

TEL 0120-1192-40（10:00-19:00 / 休館日を除く）

インターネット：<https://kamakura-kpac.jp/ticket/>

主催：鎌倉市芸術館指定管理者

鎌倉市芸術文化振興財団・国際ビルサービス共同事業体

# アフタートーク



## 中橋 嘉久 (なかはし よしひさ)

1942年 京都市生まれ

1960年 平安高校卒業。松竹京都撮影所入所

1964年 松竹大船撮影所異動以後、映画・テレビの主に松竹カメラマンの助手を務める。

1983年 TVドラマ「火曜サスペンス劇場—少年は見ていた」出目昌伸監督で初撮影担当。

その後、映画・2時間テレビドラマを70本近く担当。



## 松竹大船撮影所について

1936年1月、それまで東京市蒲田区（現：東京都大田区蒲田）にあった撮影所を大船に移転。撮影所長の城戸四郎は「松竹大船調」という独特のスタイルを大船で確立する。

松竹の看板映画だった『男はつらいよ』シリーズもこのスタジオで製作された。

桜の季節には、撮影所の一部を市民に開放。

多くの市民が撮影所をおとずれ花見を楽しんでいた。

渥美清氏逝去後、『男はつらいよ』シリーズ続行不可もあり、

2000年6月をもって惜しまれながら

閉鎖されることとなった。

### 【アクセス】

鎌倉芸術館へはJR大船駅東口・笠間口から徒歩約10分。

大船駅へはJR東海道線で品川駅から35分、東京駅から43分程度。

鎌倉芸術館  
KAMAKURA PERFORMING ARTS CENTER

